

プリン状せっけん

の作り方、使い方



2013年12月18日放映のHNK「あさイチ！」で、「スーパー主婦直伝！今度こそ！きれいをキープ 掃除革命」と題して、ゲル状で汚れに留まりパック効果がある「プリン状石けん」が紹介されてから、粉石けんを買いに走る方が続出。シャボン玉石けんにもお問い合わせが相次ぎました。

ご質問の多い作り方、使い方をまとめたので、周りの方にも教えてあげてください。油汚れのほか、スニーカーなどの泥汚れもよく落ちます。

(情報 & 画像提供: シャボン玉石けん株式会社 石けんアドバイザー・前田博昭さん)

作り方

粉石けん(20g~50g)をぬるま湯(30℃~50℃)500mlで溶かします。
そのまま3時間ほど置いて冷やせばプリン状に固まります。
プリン状に固まった石けんを砕いてゲル状にすれば出来上がりです。

※石けんの量によって硬さに違いがありますが、洗浄力は変わりません。使い勝手の良い状態をご判断下さい。



粉石けんスノール
50gをボウルに
入れた状態



50℃500mlの
お湯に溶かした
状態



冷えてプリン状に
固まりました



手で砕いて
ゲル状にします



出来上がり!



容器に
保存しましょう

使い方

●ゲル状の石けんを鍋やガスレンジ、換気扇など油汚れのひどい部分に塗りつけて10分

から20分ほど時間を置いた後、水で洗い流すか拭き取りを行って下さい。ガスレンジは温かい状態で使用すると洗浄効果が上がります。

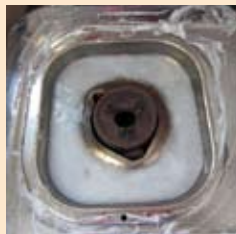
●パック状で汚れに留まるので、つけ置き洗いでできないガスコンロや、液状であれば垂れてしまう網戸などの掃除に便利です。

※アルミ製品は変色の恐れがあります。

※製品の使用年数や材質によって表面加工が落ちてしまうことあるのでご注意ください。



鍋に塗る



ガスレンジに塗る



五徳に塗る

“粉末の洗濯用合成洗剤”では作れません

粉石けんと“粉末の洗濯用合成洗剤”を混同する方がいますが、合成洗剤はゲル状にならないのでプリン状石けんは作れません。石けんと合成洗剤は全く違うものです。

石けんも合成洗剤も「界面活性剤」の一種ですが、「石けん」に分類されるのは「脂肪酸ナトリウム」「脂肪酸カリウム」です。動植物性油脂に苛性ソーダ(液体は苛性カリ)を反応させたものみです。それ以外の界面活性剤(合成界面活性剤)を主成分とするものは、全て合成洗剤です。合成界面活性剤は、人体や環境に悪影響を与

えます。健康な体ときれいな水を守る無添加石けんを使いましょう。

石けんと合成洗剤の見分け方

洗濯用製品は成分表示の最初の「品名」の項目で「石けん」と「合成洗剤」が区別されているので簡単に見分けられます。

63467(シャボン玉) 粉石けんスノール・紙袋

1kg
777円(税込価格)
740円(本体価格)

【成分】純石けん分(99% 脂肪酸ナトリウム)
良質な天然油脂を原料にした純石けん分99%の無添加石けんです。天然保湿成分のグリセリンにより、ふっくらと柔らかく洗い上がるので柔軟剤は必要ありません。



63494(シャボン玉) EM粉石けん・紙袋

2.1kg
1,760円(税込価格)
1,677円(本体価格)

【成分】純石けん分(99% 脂肪酸ナトリウム)
良質な天然油脂をじっくり約1週間かけて作った、釜だき職人のこだわり、無添加EMせっけん。純石けん分99%なので、お肌にも環境にも優しく、洗浄力と洗い上がりの良さは申し分ありません。

